

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 26 日

千葉県知事

熊谷 俊人 殿

提出者 〒290-8585

住 所 千葉県市原市八幡海岸通12

氏 名 工場長 井上 唯之

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0436-41-4115

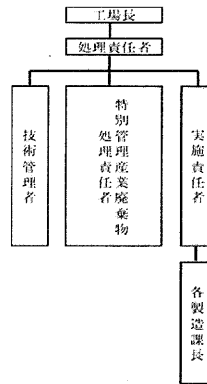
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	D I C株式会社 千葉工場
事業場の所在地	市原市八幡海岸通12
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：製造業、中分類：化学工業
② 事業の規模	前年度の製造品出荷額：324億円
③ 従業員数	約870人（D I C：約770人、常勤関係会社：約100人）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>アクリル樹脂製造工程</p> <pre> graph LR A[積物地、粉砕物] --> B[反応] C[無水酢酸] --> B D[メチルメタクリレート] --> B E[スチレン] --> B B --> F[洗浄] F --> G[抽出] G --> H[抽出] G --> I[抽出] H --> J[廃製品] I --> K[出荷] J --> L[廃棄物] K --> M[出荷] L --> N[廃棄物] </pre> <p>その他の工程は別紙「工程図」を参照ください。</p>

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物ステーション設置により、分別方法を明確化。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現行分別方法の維持と徹底。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	自ら行う産業廃棄物の 再利用を行っていない	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	行う予定もない	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 別紙のとおり			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	産業廃棄物の埋立処分及び海洋投入処分を行っていない。	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	行う予定もない	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

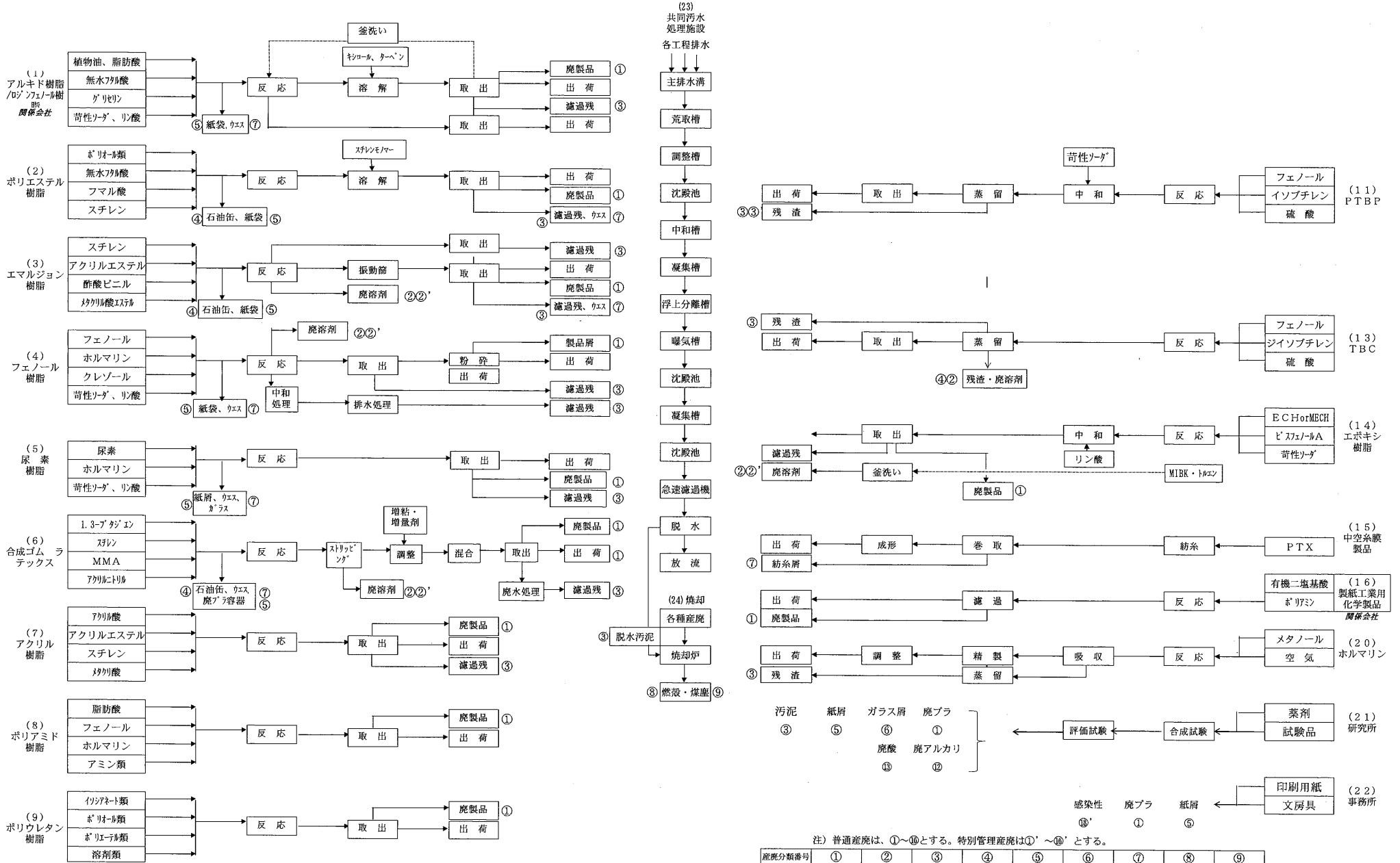
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

製造業
4. 製造工程図



注1. 製造品目、廃棄物の種類毎に工程図を記入すること。
注2. 発生する廃棄物に番号をつけ、5. 及び6. の廃棄物の番号と連動させること

注) 普通産廃は、①～⑩とする。特別管理産廃は①'～⑩'とする。

産廃分類番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
産廃分類番号	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
	廃プラスチック	コンクリートダウ	廃アルカリ	廃酸	保温層	陶磁層	木屑	感染性	

別紙 (1/2)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項												
【前年度（令和4年度）実績】												
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ類	燃え殻	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず	廃酸	廃アルカリ	廃機械類	その他混合廃棄物	産廃合計	
①現状	排出量（単位：t）	3,430.4	2,068.9	1,955.9	307.2	1.0	55.7	0.08	21.0	3.7	2.4	7,846.2
(これまでに実施した取組)		産業廃棄物焼却施設での燃焼処理実施による社外排出量の減量化の実施			汚泥投入量の最適化	設備、器具類の良好な管理の維持。	外部委託によるチップ燃料への切り替え実施。	主に原料棄却につき在庫管理の徹底。		設備、器具類の良好な管理の維持。	主に研究用につき研究効率化による排出量削減。	
【目標】												
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ類	燃え殻	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず	廃酸	廃アルカリ	廃機械類	その他混合廃棄物	産廃合計	
②計画	排出量（単位：t）	3,259	1,965	1,858	292	1	53	1	20	4	2	7,454.8
(今後実施する予定の取組)		同上	同上の取組に加えて、有価物としての搬出を増加させ、廃棄物としての搬出を削減する		同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項												
【前年度（令和4年度）実績】												
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ類	燃え殻	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず	廃酸	廃アルカリ	廃機械類	その他混合廃棄物	産廃合計	
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量（単位：t）	1,395.1	1,902.9	1,912.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5,210.8
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量（単位：t）	1,286.5	1,754.8	1,763.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4,805.1
(これまでに実施した取組)		産業廃棄物焼却施設による事業所内発生産業廃棄物の燃焼処理実施。			中間処理を実施していないので、特になし							
【目標】												
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ類	燃え殻	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず	廃酸	廃アルカリ	廃機械類	その他混合廃棄物	産廃合計	
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量（単位：t）	1,325	1,808	1,817	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4,950.2
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量（単位：t）	1,222	1,667	1,676	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4,564.9
(今後実施する予定の取組)		産業廃棄物焼却施設による事業所内発生産業廃棄物の燃焼処理実施。			中間処理を実施していないので、特になし							

別紙 (2/2)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項												
【前年度（令和4年度）実績】												
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ類	燃え殻	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず	廃酸	廃アルカリ	廃機械類	その他混合廃棄物	産廃合計	
①現状	全処理委託量（単位：t）	2,143.9	314.1	192.1	307.2	1.0	55.7	0.08	21.0	3.7	2.4	3,041.2
	優良認定処理業者への処理委託量（単位：t）	1,816.9	213.8	180.0	307.2	1.0	55.7	0.08	2.4	3.7	2.4	2,583.1
	再生利用業者への処理委託量（単位：t）	1,816.9	304.6	192.1	307.2	1.0	55.7	0.08	2.37	3.7	2.4	2,686.0
	熱回収認定業者への処理委託量（単位：t）	327.0	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.66	0.0	0.0	355.1
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量（単位：t）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(これまでに実施した取組)		適正な処理委託の維持継続・強化										
【目標】												
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラ類	燃え殻	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず	廃酸	廃アルカリ	廃機械類	その他混合廃棄物	産廃合計	
②計画	全処理委託量（単位：t）	2,037	298	182	292	1	53	1	20	4	2	2,890
	優良認定処理業者への処理委託量（単位：t）	1,726	203	171	292	1	53	0	2	4	2	2,454
	再生利用業者への処理委託量（単位：t）	1,726	289	182	292	1	53	0	2	4	2	2,552
	熱回収認定業者への処理委託量（単位：t）	311	9	0	0	0	0	0	18	0	0	337
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量（単位：t）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
(今後実施する予定の取組)		同上										